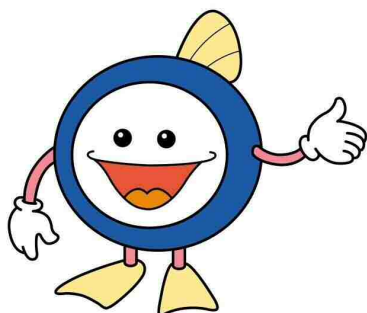


# 愛知県の流域下水道事業について



下水道マスコットキャラクター  
『すいすい』

愛知県



愛知県下水道科学館のイメージキャラクター  
『エッピー』

1

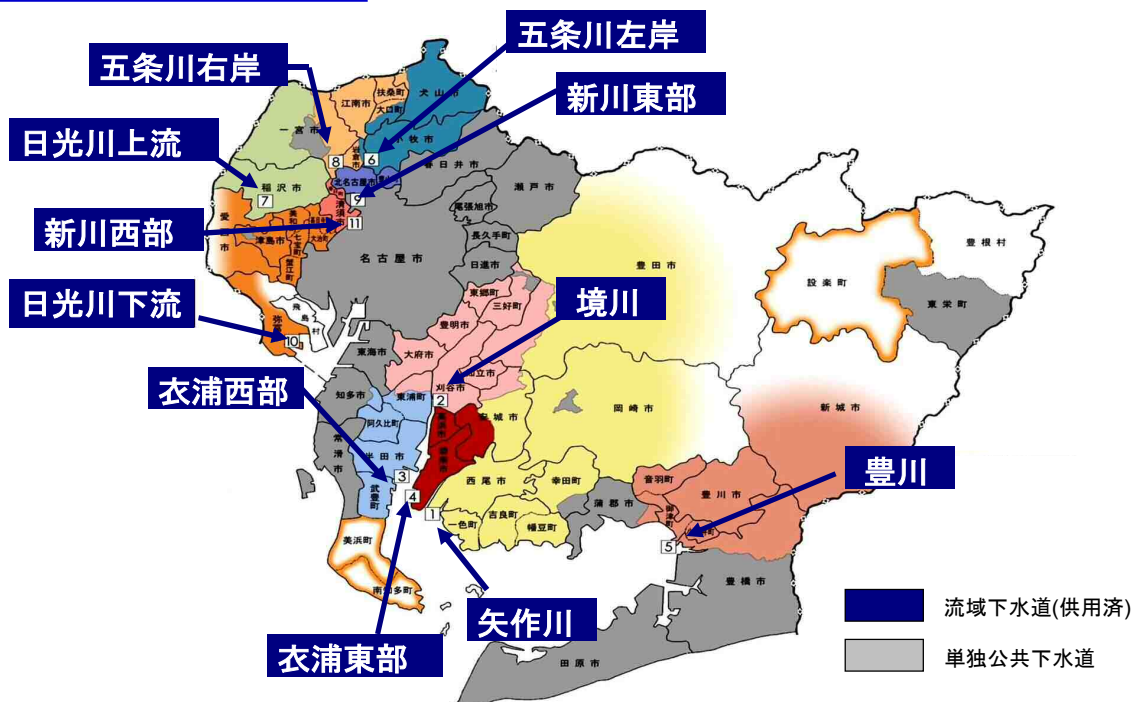
## 目 次

- 1 愛知県の流域下水道事業概要
- 2 管理体制
- 3 ISO55001試行認証支援

# 1. 愛知県の流域下水道事業概要

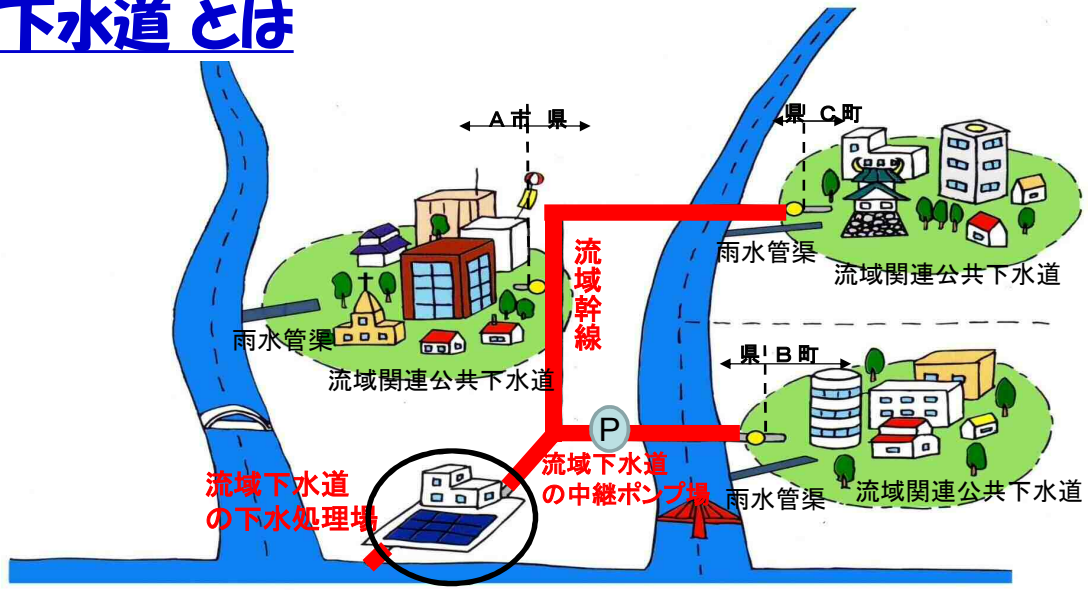
## 1. 愛知県の流域下水道事業概要

### 愛知県の下水道



# 1. 愛知県の流域下水道事業概要

## 流域下水道とは



----- 行政区域 ----- 市街化区域  
 ● 接続点: 県が整備した幹線管渠と市町が整備した管渠が接続する人孔で流量計などの計測設備が設置されている

- ・県の役割 : 下水処理場と各市町の汚水を迎えに行く**流域幹線**の整備と維持管理
- ・市町の役割 : 接続点から各家庭までの汚水管渠の整備と維持管理  
雨水管渠の整備と維持管理

# 1. 愛知県の流域下水道事業概要

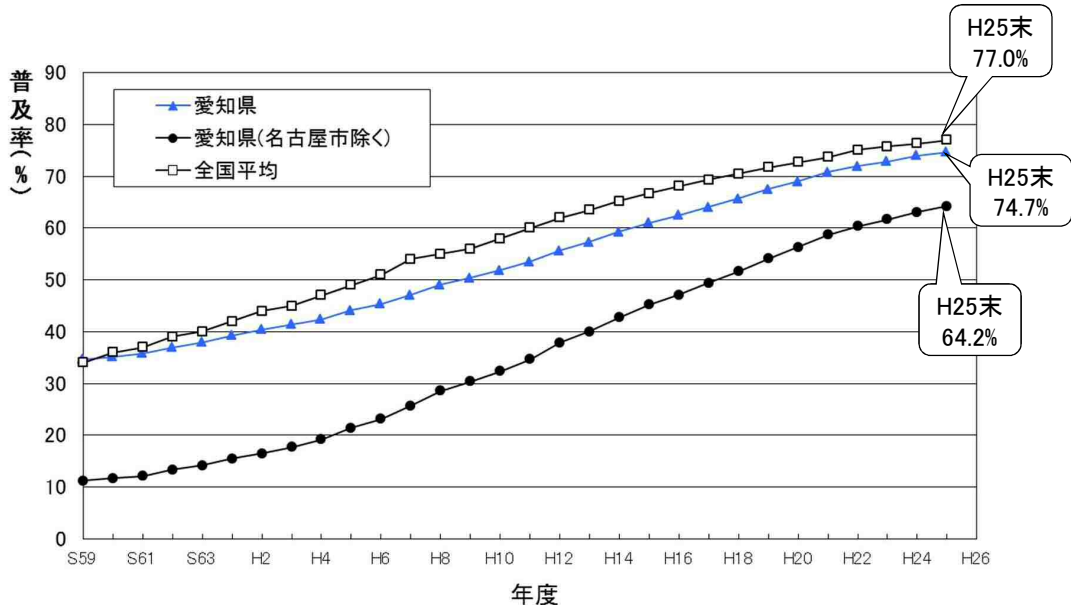
## 事業概要

平成26年4月1日現在

流域下水道名	計画処理人口 (人)	計画処理能力 (m <sup>3</sup> /日)	着手年度	供用年度	現況処理能力 (m <sup>3</sup> /日)
矢作川	850,740	463,800	S47	H4	263,800
境川	646,219	367,000	S46	H1	202,200
衣浦西部	232,800	122,000	S58	H3	84,600
衣浦東部	128,770	74,900	S63	H8	31,100
豊川	248,190	171,000	S47	S55	104,000
五条川左岸	224,280	139,600	S52	S62	91,200
日光川上流	302,200	184,300	H2	H12	68,600
五条川右岸	263,140	138,800	H5	H13	30,000
新川東部	89,370	52,320	H12	H19	8,250
日光川下流	298,500	153,800	H14	H21	24,100
新川西部	62,920	35,200	H17	H24	2,000
合計	3,347,129	1,902,720			909,850

# 1. 愛知県の流域下水道事業概要

## 下水道普及率の状況

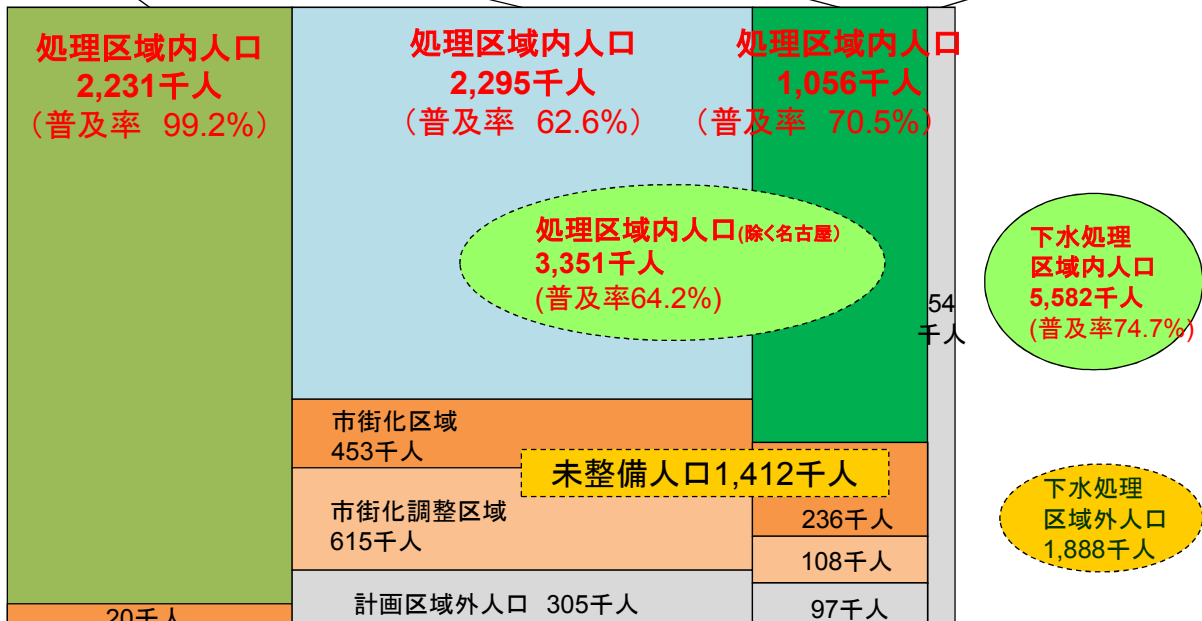


※H22年度末全国のデータは、岩手、宮城、福島を除いた値  
 ※H23年度末全国データは、岩手、福島を除いた値  
 ※H24,25年度末全国データは、福島を除いた値

# 1. 愛知県の流域下水道事業概要

H25年度末 愛知県人口 7,470千人 (住民基本台帳)

名古屋市人口 2,251千人	流域下水道関連人口 3,668千人	単独公共下水道関連人口 1,497千人 (除く名古屋)	その他町村人口 54千人 (未着手、計画無)
-------------------	----------------------	--------------------------------	---------------------------

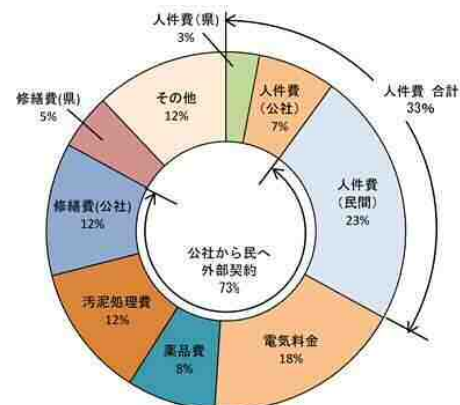


# 1. 愛知県の流域下水道事業概要

## 愛知県流域下水道の現状

- 資産 総投資額：約6,500億円  
うち国費：約3,900億円  
残り：約2,600億円  
(県2/3、市町1/3で支出(大半が起債充当))

- 事業費 建設事業費：125億円/年  
管理事業費：120億円/年  
(ほぼ全額を市町からの維持管理費負担金で賄っている。  
市町は利用料金で賄いきれず、一般会計から繰り入れしている。)  
公債費：100億円/年

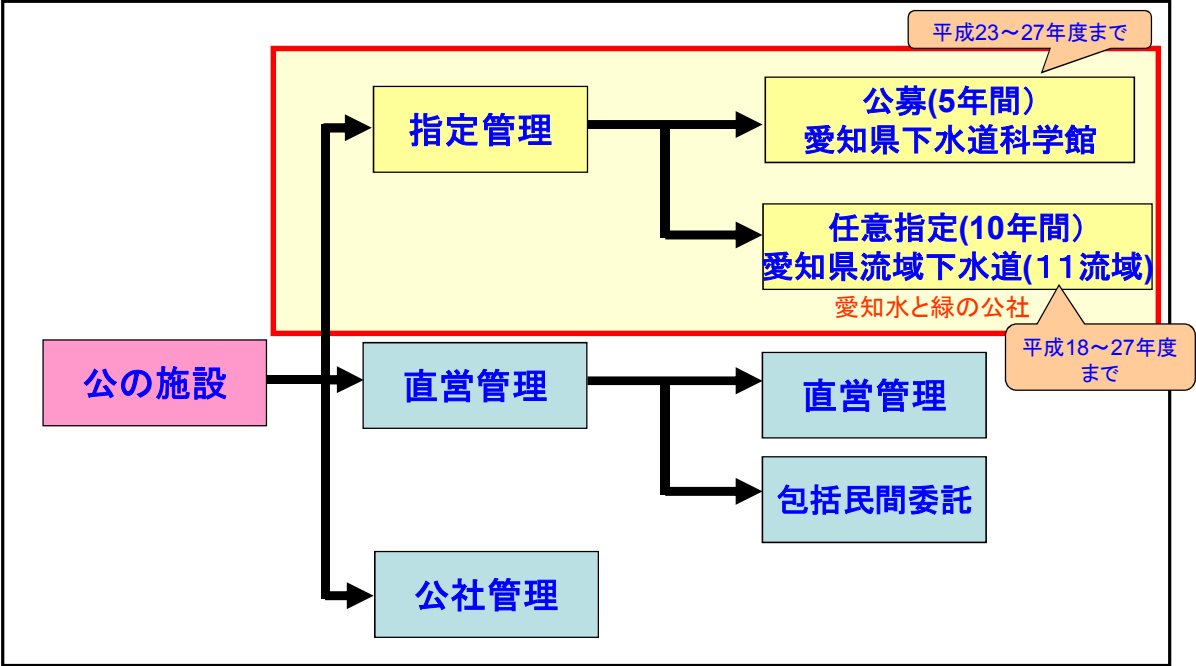


管理事業費の内訳

## 2. 管理体制

## 2. 管理体制

### 愛知県流域下水道の指定管理者制度



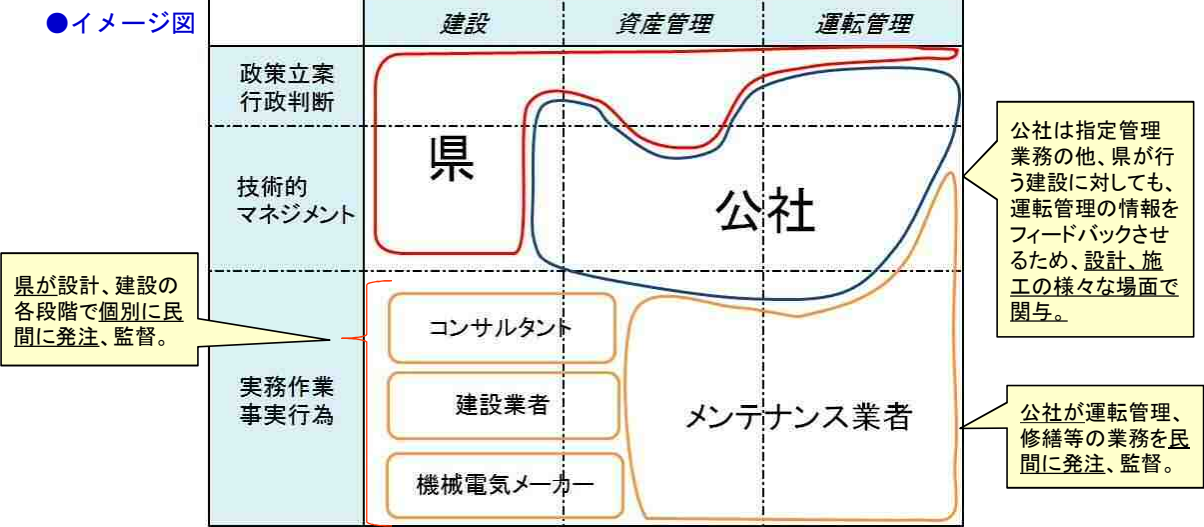
## 2. 管理体制

### 愛知県流域下水道の維持管理体制

実施主体	業務内容	
県	行政的な業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道台帳の整備</li> <li>・流域関連公共下水道の接続承認</li> <li>・悪水流入時における市町への指導</li> <li>・収支計画の策定</li> <li>・汚泥処理の基本的方針の策定</li> <li>・管渠の保守点検、修繕</li> <li>・機械・電気設備の計画修繕</li> </ul>
(公財)愛知水と緑の公社 (H18～H27指定管理者)	下水道施設の管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・処理場等の運転、監視、保守点検、修繕</li> <li>・汚泥の処理処分</li> <li>・流入水量の計測</li> </ul>

# 2. 管理体制

## 流域下水道事業における県・公社・民間事業者の役割分担



●職員構成

建設部門		管理部門	
県 48人	県 33人	公社 77人	民間メンテナンス業者 約280人

※本庁下水道課職員は含まれていない。

# 3. ISO55001 試行認証支援

## 3. IS055001 試行認証支援

### 流域下水道事業における課題

- 愛知県は流域関連市町との出捐により、流域下水道管理の技術的分野を担う組織として公社を設立。供用当初から処理場・ポンプ場の維持管理を公社が継続実施しており全11流域下水道の管理を指定管理者(任意指定)として一括管理し、県が実施する建設事業に対する提案を行うなど、県の補完機関としてその機能を果たしている。
- 流域下水道管理の技術的部門を公社に委ねている現状において、県が管理状況を正しく把握し建設計画等に確実にフィードバックしていく体制を整えることが必要。
- 今後、増大する下水道施設の老朽化に適切な資産管理を行っていくため、公社が保有する維持管理情報の共有化や施設の長寿命化計画への反映など、県と公社が密接に連携して資産管理していく必要がありアセットマネジメントシステムを導入し、責任の所在と業務手順を明確にして、継続的に課題を抽出し業務改善につなげていく体制を構築する必要。



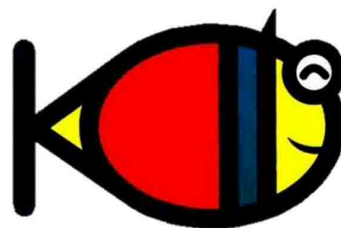
IS055001 試行認証支援の応募

15

## 3. IS055001 試行認証支援

### 事業範囲と対象施設の概要

- 県が管理する11流域下水道のうち五条川左岸処理区の施設建設と運転管理に関する体制(人材・組織)を対象とし、県と公社が一連のマネジメントシステムを構築する。(管路施設は除く)
- 今回は主に県と公社の組織体制として、業務分担と手順、リスク管理等の位置付けを中心に整理し、資産情報のDB化や整理は次の段階で行いたいと考えている。



五条川左岸流域下水道のイメージキャラクター  
『ごじょっこ』

16



# 3. ISO55001試行認証支援

## アセットマネジメントの取組状況

項目	取組状況(自由記述)
①アセットマネジメントに関する組織の目標を定めている	個々の施設で予防保全型の維持管理を行っており、国の長寿命化支援制度を活用し長寿命化計画を策定し改築更新を行っているが、今後増大する改築更新費用の平準化を含めた全体最適を目的とした目標設定は行っていない。
②アセットマネジメントシステム導入により解決すべき課題、改善すべき問題点が明確である	県と公社における業務分担、組織体制の強化、散在する資産情報のデータベース化と共有・定量化、適切なPDCAサイクルの構築が必要。
③処理施設・管路施設等に関するデータベース(電子台帳等)を整備している	民間の点検業者、指定管理者、県がそれぞれ資産に関する情報を持っておりデータベース化や共有化がうまくなされていない。
④リスクアセスメントに基づき、事業・施策・業務の優先度を決定している	大規模地震を想定した流域下水道BCPを昨年度整備。また、老朽化対策については保有する維持管理情報を長寿命化計画に反映させている。
⑤利害関係者の要望を、事業運営に反映する仕組みが整っている	流域関連市町との調整は流域ごとに処理部会を設置し事業に関する各種調整と情報共有を図っている。また、11流域の内4流域において、地元周辺地域の意見を調整する公害防止委員会等を開催。その他、漁業協同組合等との調整の機会を有している。
⑥業務サイクルの中に、業務の改善を図る仕組みを取り入れている	公社では、ISO14001を取得し、業務の目標を定め、PDCAサイクルを回しながら業務改善に取り組んでいる。
⑦ストックマネジメント活動(長寿命化計画を策定し、事業を実施している など)を実施している	公社において日常の設備点検、修繕を実施 公社の維持管理情報を活かしながら、県において各施設の長寿命化計画の策定を進めている。

現在ISO55001試行認証支援の中で整理中